

- 主な内容 -

P2 | 年頭のあいさつ

P3 | 特集「啓翁桜」



月山朝日観光協会イメージ  
キャラクター「ガッざん」

NETWORK

にししかわ

2022

令和4年

1月号

No.790



## 「コロナ禍においても まちづくりを着実に進めていく年」

### 明

けましておめでとうございます。輝かしい令和4年の新春にあたりまして、町民の皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。

昨年を振り返りますと、新型コロナウイルス感染症の拡大と収束が繰り返され、経済が大きく影響を受けた一方で、PCR検査体制の拡充と着実なワクチン接種の推進により、過去最大であった第5波も収束し、コロナ克服と経済再生に向けた若干の明るい兆しが見えてきた年でありました。

町内においては、コロナの感染予防やワクチン接種、一昨年に発生した豪雨災害の復旧工事などの事業を実施いたしました。事業の実施に際し、多大なるご理解と協力を賜りました町民の皆様にご心より感謝申し上げます。

また、1年延期での実施となった「東京2020オリンピック」の聖火リレーとホストタウン事業につきましても、コロナ禍の難しい状況の中、関係者の中から1人の感染者も出さず無事に終えることができましたことは、町民の皆様のご協力によるものであり、改めて感謝申し上げます。さて今年度は「オミクロン株」など新たな変

異株によるコロナ感染の再拡大が危惧され、その対策として3回目のワクチン接種を予定しておりますが、その効果が出てくるまでは町内の産業にとって厳しい状況が続いていくことが見込まれるため、引き続きコロナ関連の経済対策を実施してまいりたいと考えております。特に、本町にとって重要な宿泊・飲食・小売事業者の事業承継に対する支援を強化していくと共に、米価下落などで厳しい経営環境となっている農家に対する経営支援を行い、力強い町内産業の推進に努めてまいります。

加えて、コロナ禍が続く中、地域内の交流ができなくなったことから、地域コミュニティが弱まってきていることに対し危機感を持っております。地域の振興がなければ町全体の発展にも繋がりません。住民自らが地域の将来を考えていける力や、次代のリーダーとなる人材育成が重要と捉えており、これらの取り組みを支援してまいりたいと考えております。

さらに、少子高齢化による人口減少など、さまざまな課題への対応として、若者の住環境整備のための団地造成、働く場の確保のためのオフィス型の企業誘致、子育て支援

のための保育料無償化や、子どもの遊び場・子育て世代の交流の場の創出、利便性の高い公共交通の実現、そして町民の利便性の向上や行政事務の効率化のため、デジタル技術を活用して業務変革を進める、いわゆる「自治体デジタル・トランスフォーメーション(自治体DX)」の推進など、限られた予算の中で優先順位や事業効果を考慮し、検討を進めてまいりたいと考えております。

結びに、皆様にとりまして今年一年が幸多き年になりますことをご祈念申し上げます。さらには町政推進のためになお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のあいさつといたします。



西川町長 小川 一博

雪国・西川から  
届ける「冬の桜」

特集

啓翁桜





写真：1.小川町長をはじめとする町関係者らが出荷作業などの安全を祈願した／2.今年度新たに整備された啓翁桜促成温室(吉川)／3.にしかわ保育園長児が出荷を祝うダンスを披露／4.出羽三山神社の山伏2名によって神事が執り行われた／5.初出荷となる啓翁桜がトラックの運転手の方に託された／6.関係者らによるテープカットの様子



# 啓翁桜の 一大産地化を目指して

## 今年度の啓翁桜、出荷スタート

12月16日、「令和3年度啓翁桜出発式」が西川町啓翁桜促成施設(吉川)で行われ、首都圏に向けた出荷の安全などを祈願しました。

啓翁桜はクリスマスやお正月の贈答用などの需要の高まりに合わせ、11月中旬から桜の切り出し作業が行われます。消費者の手元に届く頃に開花するよう計算し、ハウス(促成室)を効果的に活用した促成栽培を行っています。

昨年度の本町産啓翁桜の販売実績は、約36万本(約5千万円)で自治体として全国トップに。今年度は首都圏の市場やギフトを中心に、約38万本の出荷が見込まれています。

国内需要が一旦落ち着く2月頃は香港やマカオなどへ輸出し、春先には卒業式や入学式シーズンに向けた出荷を行います。

## さらなる出荷拡大を目指して

町では、冷涼な気候条件を生かし、冬場に出荷できる農産物として、平成29年度から「啓翁桜大規模団地化推進プロジェクト」を生産者・さがえ西村山農業協同組合と連携して進めています。

このプロジェクトでは「販売金額1億円」を合言葉に、園地の造成、促成温室・作業室の整備などが計画されています。

園地整備は令和元年度の海味のアクト地区、岩木地区への5・6haの造成から始まり、昨年度は吉川の尾畑山地区、海味の下モ山地区、アソウ地区、本野地区に8・2haを造成。来年度の睦合の下モ山地区への園地造成で大規模団地化が完了し、町内の啓翁桜の栽培面積は34・1haとなります。

園地拡大に伴う生産者の増加に対応するため、今年度、促成温室

と作業室を新設。既存の施設と合わせて最大で約25万本の開花調整が可能となりました。  
町では今後「販売金額1億円」の日本一の産地を目指し、さらなる出荷拡大に取り組んでいきます。

### 西川町啓翁桜生産組合長 金子光弥さん(大井沢)

#### 生産者の声



今年は春先の凍霜害の影響で厳しい栽培状況となりましたが、無事に収穫することができました。全体的に花芽が付き、良い桜が出揃いました。毎冬ご家庭でふとした時に眺め、楽しんでもらえるような存在になってくれたらと思います。



## 実用性高い消防ポンプ庫完成

睦合地区消防ポンプ格納庫竣工式

睦合地区の消防ポンプ庫が完成し、12月4日、関係者による竣工式が執り行われました。同ポンプ庫は旧睦合小学校のプール跡地に建設。2トン車の消防自動車や消防機材の格納スペースが整備され、有事の際に消防団員が待機するための会議室などを併設しています。完成に伴い、同地区消防団の土田嘉勝部長は「無事に完成を迎え、ご支援いただいた皆様へ感謝申し上げます。今後さらに身を引き締めて日々の予防広報活動に取り組んでいきたい」と話しました。



新たに建設された睦合地区の消防ポンプ庫

## 雪遊びを満喫できる集いの場に

今季の「にしかわGASSANの冬」開幕

町内の冬期間のイベントの開幕に合わせ、「にしかわGASSANの冬」のオープニングイベントが12月18日、弓張平公園パークプラザで開催されました。式には運営を行う月山冬の誘客推進協議会をはじめ、県、町の関係者や「月山ふるさと大使」を務める山形住みます芸人の本坊元児さんなど約50人が出席し、テープカットが行われました。式典後、一般参加者など約20人がスノーシューで同公園周辺を散策し、今冬のトレッキングを楽しみました。



にしかわGASSANの冬オープニングイベントの様子

# Congratulations!

～おめでとうございます～

それぞれの道で輝く皆さんの功績を称え、ご紹介します。

### 西川の剣士たちが健闘！ 第51回寒河江市長杯争奪剣道大会

12月4日に行われた第51回寒河江市長杯争奪剣道大会（会場：寒河江市市民体育館）に出場した皆さんの成績をお知らせします。

- 小学校女子団体の部
- 準優勝▼栄光スポーツ少年団A
- 第3位▼栄光スポーツ少年団B
- 中学校女子団体の部
- 第3位▼西川中学校



▲栄光スポーツ少年団・西川中剣道部の皆さん

### 議会議員として西川町の発展に尽力 山内正名夫さんが旭日単光章受章

山内正名夫さん（本道寺）は平成7年に西川町議会議員に就任以来、12年の永きにわたり議会議員として在職されました。町の発展のために貢献された功績が認められ、旭日単光章を受章されました。

12月2日、小川町長から山内さんに勲記と勲章の伝達が行われました。



▲小川町長から勲記を受け取る山内正名夫さん

## 災害時の備えに電動車両を

町と山形三菱自動車販売㈱が協定締結

11月29日、本町と山形三菱自動車販売㈱が、災害や大規模停電時における電動車両等の貸与に関する協力協定を締結しました。同社から貸与されるのは、プラグインハイブリッド車の「アウトランダーPHEV」や「エクリプスクロスPHEV」等の電動車両。これらはフル充電の状態でも一般家庭の1日分、さらにエンジン発電を組み合わせると最大10日分の電力を供給できます。協定締結後、車両を使ったデモンストラーションが行われ、同社の鈴木武浩社長は「災害な



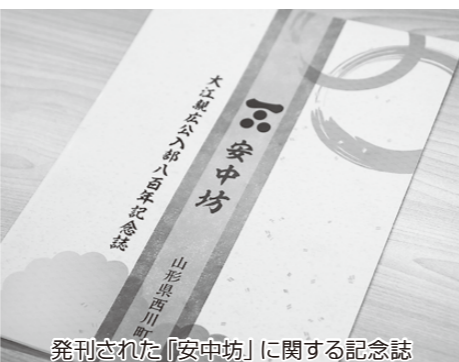
車両を使った給電デモンストラーションの様子

どの有事の際、迅速な支援が可能になった。西川町と共に社会貢献に臨みたい」と話しました。

## 安中坊大江氏の800年を一冊に

町教育委員会が安中坊に関する記念誌を発刊

この度、町教育委員会では「安中坊く大江親広公入部八百年記念誌」を発刊しました。この記念誌は本誌の7月号から9月号内の「にしかわ歴史巡り」で連載した記事の総集編であり、より詳しい資料や写真をフルカラーで紹介しています。執筆と編集を手がけた町郷土史調査員の清野幸夫さん（海味）は「多くの方の協力のもと、大江親広公入部800年という記念の年に本書を発行でき、感謝している。郷土の歴史に理解を深めるきっかけとして、ぜひ多くの方から手に取ってほしい」と話してくれました。



発刊された『安中坊』に関する記念誌

なお、この記念誌は交流センターあいべで無料で配布しています。

## 新規採用職員を紹介

(令和4年1月1日付)



おの ゆみ  
小野 裕美  
(寒河江市)  
町立病院・看護師

初心を忘れず、患者様に寄り添い、地域の皆様から信頼を得られる看護を心がけていきます。よろしくお願いいたします。



あらき えみ  
荒木 恵美  
(寒河江市)  
町立病院・看護師

地域の皆様が安心して医療・看護を受けられるよう、一生懸命努めてまいります。よろしくお願いいたします。

## 2021年版 西川町の人の動き

(※2021年1月1日～12月24日)

■出生：18人



■死亡：110人



■転入：67人  
■転出：140人



■婚姻：4人





# 今月の「#いいべ西川」



**東** 京2020五輪のカヌースプリント競技に出場し、事前合宿で本町を訪れていた小野祐佳選手を招き、12月5日、町民体育館で講演会が行われました。小野選手は同所のトレーニングマシンを使い、本町の子もたちに漕ぎ方などを丁寧に指導。参加者は日本代表として第一線で活躍している小野選手の話に聞き入っていました。

▶ Instagram

西川町公式アカウント「@iibegassan」



IIBEGASSAN

## 今月の表紙

12月16日、啓翁桜の出発式が吉川地区の啓翁桜促成施設で行われました。

式にはにしかわ保育園の年長児が登場し、歌とダンスを披露。今季の桜の出荷を賑やかに祝いました。(4、5ページに関連記事)



## 編集雑記

あけましておめでとうござい  
ます。今年も皆さんに元気を届  
けたい。今年も皆さんに元気を  
届けたい。今年も皆さんに元  
気を届けたい。今年も皆さん  
に元気を届けたい。今年も  
皆さんに元気を届けたい。

プライベートの目標は、今年こそ三日坊主にならず、読書をする習慣を作って知識を増やすことです。皆さんの2022年の目標は何でしょうか？(板花)

西川町について詳しく知りたい方、ご意見・お問い合わせなどは、町のホームページ<https://www.town.nishikawa.yamagata.jp>をご覧ください。



12/24 現在の人口と世帯数 人口 男 2,364人 女 2,549人 計 4,913人 世帯数 1,816 ( )は前月比 (-6) (-5) (-11) (+1)